

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 1 月 19 日作成)

小委員会名	住宅ストック法制度・政策小委員会	主 査 名：：高屋 宏 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：田村誠邦
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・空家問題をはじめとし、住宅ストックに対する法制度・政策のありかたを検討するために、現状の問題・課題を把握し、わが国の建築社会システム整備につながる研究を行う。 ・初年度：各 WG の個別目標の具体化／空き家等の問題・課題の質と量的な把握 ・2 年度：前年度成果を踏まえた課題の整理／法制度や政策の現状と課題の整理 ・3 年度：諸外国の事例の研究／実践的研究の実施 ・4 年度：取りまとめ及び補足研究 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (ただし、応募なし)	
	主査：高屋宏 (市浦ハウジング&プランニング) / 幹事：齊藤広子 (横浜市立大学) / 柴田 建 (九州大学大学院) / 関栄二 (AG デザイン) / 森田 芳朗 (東京工芸大学) / 藤木 亮介 (スペースユニオン) / 小杉 学 (明海大学) / 長谷川洋 (国土交通省国土技術政策総合研究所) / 村上心 (椙山女学園大学) / 山本 理 (街と住まいの研究室) / 西戸啓陽 (三菱地所コミュニティ)	
設置 WG (WG 名：目的)	マンション・民間賃貸住宅 WG⇒マンション・民間賃貸住宅の管理・再生の適正化 空家資源再生 WG⇒戸建て住宅・住宅地の管理・再生の適正化 公的住宅・団地 WG⇒公営住宅・団地の管理・再生の適正化	
2017 年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：－ 委員会 HP アドレス：－

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	－
講習会	－
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	－
大会研究集会	名称：研究懇談会「住宅地の管理から経営へ ～エリアマネジメントの既成住宅地への展開～」 資料名：同上 参加者数 40 名程度
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	－

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>○今年度は、予定通り全6回の小委員会（それぞれ下記に示すWGと合同開催）、及び建築学会大会における研究集会を開催し、概ね活動計画に沿った取り組みを進めることができ、相応の成果が得られたものと評価できる。</p> <p>○前半の1～3回は、空家資源再生WG/公的住宅・団地WG合同の研究企画として、建築学会大会における研究懇談会（住宅地の管理から経営へ）の準備を意図して開催したもの。第6回（2018.2.27）はその関連事例研究・視察として実施を予定。</p> <p>○4～5回は、マンション・民間賃貸住宅WG主導の研究企画として開催。研究対象とするマンションの適正管理に向けた管理組合の実践活動や団地型マンションにおけるDIY賃貸も含めた管理会社による先進的な取り組み等について認識を深めた。</p> <p>①第1回小委員会（空家資源再生WG/公的住宅・団地WG合同）／2017年5月25日 『エリアマネジメントの動向と今後』（法政大学 保井美樹氏） 『「まちにわ ひばりが丘」における取り組みについて』（HITOTOWA INC. 高村和明）</p> <p>②第2回小委員会（空家資源再生WG/公的住宅・団地WG合同）／2017年6月1日 『泉北ニュータウン「リノベ暮らし学校」の紹介』（大阪市立大学 小池志保子氏） 『BON JONOの紹介』（九州大学 柴田建氏） 『アメリカ「グリーンベルトホームズ」の紹介』（東京工芸大学 森田芳朗氏）</p> <p>③第3回小委員会（空家資源再生WG/公的住宅・団地WG合同）／2017年7月27日 『2017.9.3 建築学会大会研究懇談会「住宅地の管理から経営へ」の論点等に関するディスカッション』</p> <p>④第4回小委員会（マンション・民間賃貸住宅WG）／2017年10月25日 『団地の再生に向けた、管理会社としての取り組み』（日本総合住生活 戸村達彦氏）</p> <p>⑤第5回小委員会（マンション・民間賃貸住宅WG企画による現地視察）／2017年11月25日 『稲毛海岸三丁目団地の再生に向けたプロセスとそのポイントについて』（稲毛海岸三丁目団地管理組合） 『稲毛海岸三丁目団地におけるDIYリノベーションについて』（日本総合住生活）</p> <p>⑥第6回小委員会（空家資源再生WG）／2018年2月27日 『（仮）泉北ニュータウン再生に向けた取り組み視察』（泉北NTほっとけないネットワーク 西上氏） *視察と合わせて、上記関係者と宗像市日の里再生に取り組む関係者との情報交流会を予定。</p> <p>○9/3に開催した研究懇談会においては、既成住宅地における地域価値の維持に関する先進的な取り組みや制度のありようについて認識を共有するとともに、今後の研究課題について示唆を得ることができた。また、当日のプレゼンや討論の内容を記録集として編集を行った。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 設置期間の半分の約2年が経過し、来年度はまとめを意識した取り組みを進めること。関連して、最終年度の2019年度には建築学会大会での研究集会を開催したいと考えており、その準備を進めること。</p> <p>2. 小委員会の発展的継続を考慮し、次世代を担う比較的若手の研究者・実務者をメンバーに加えていくこと。</p>

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。